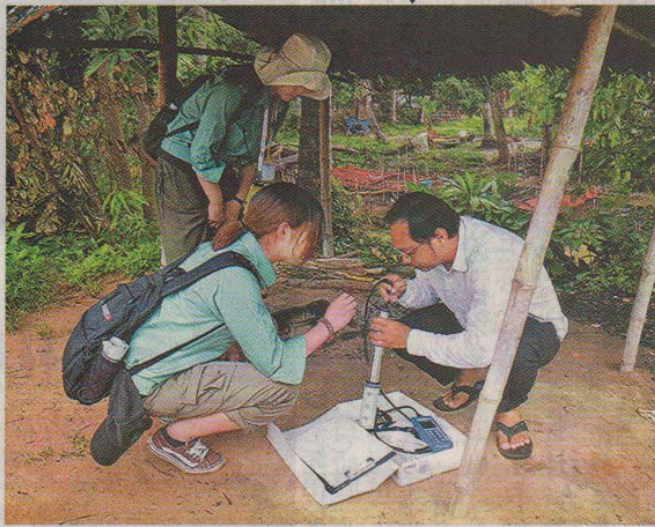


アンコール遺跡でのインターンシップで、水質調査の実習をする金沢大生(左)カンボジアで(金沢大提供)

金沢大生12人

初の海外就業体験



金沢大は、初の海外でのインターンシップ(就業体験)をカンボジアで実施した。国際学類が中心となり、同国の世界遺産・アンコール遺跡整備公団の協力を得て、学生十二人が参加。英語で実習や討論などをこなした。(今宮久志)

日程は、九月四日からの一週間で、古都のシエムリ

人文学類二年の河原由貴さん(左)は貯水池をめぐる散歩道の整備に加わり、並木を植樹するなどした。

学生たちは初めは緊張したり、英語の発音の違いに戸惑ったものの、次第に実習や同公団のスタッフにも慣れ、現地の人々、暮ら

などをじっくり見ることができたという。宮本さんは

カンボジアを訪問

英語で実習や討論

アプ市を拠点にした。郊外「最初は質問にも答えられなかった。もっと語学に慣れたらうまくできるようになる」と振り返った。

森林景観、地域振興、遺跡修復、交通量調査などの実習にあたった。

国際学類二年の宮本由貴さん(左)は、井戸の水を調べてアンモニアや塩分などの水質分析などに参加。って実現した。